

平和行政の継承強化について市長の決意を！

【高柳】 21世紀こそは「平和と環境の世紀」と私は期待を抱いていました。しかし今、世界はロシアのウクライナ侵攻で、人権や飢餓、抑圧、そして戦争と平和について日本中が、そして沼田市民の心も大きく揺れ動いています。

国防、外交、金融は国の専権事項とされていますが、自治体の住民の命と財産を守るのは地方の最も重要な役割であると認識しています。改めて平和行政の継承発展への決意を伺います。

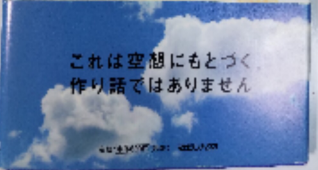
【高柳】 ロシアの侵攻以降『防衛力を強化せよ』という報道が増幅しています。しかし、内容が抽象的で不安ばかりを煽っていると感じています。現在の日本の防衛費は約5兆円で（1％？）の予算です。

また、日本の「軍事力」は、米国の調査会社によると、既に世界で5位です。（米国、中国、ロシア、インド）さらに経済力は世界で3位。この日本が（海外が2％を目指しているから）2％にしないと日本は守れないかのような動きが、とても心配になります。

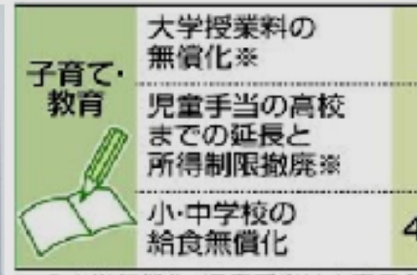
「専守防衛」の範囲を逸脱をしないか（世界の国々への「脅威」に繋がらないか）不安です。



戦争のつくりかた  
1冊500円以上で



これは空想にもとづく  
作り話ではありません



|        |                      |        |
|--------|----------------------|--------|
| 子育て・教育 | 大学授業料の無償化※           | 1.8兆円  |
|        | 児童手当の高校までの延長と所得制限撤廃※ | 1兆円    |
|        | 小・中学校の給食無償化          | 4386億円 |

※の大学無償化、児童手当は立憲民主党試算による

戦争のつくりかた

もう何度も紹介していますが、平和がピンチ！と感じたときに開きます。ぞっとすることが書かれてあります。

最後に良い話！

以前、成人式に参加した障がいをお持ちのお子さんがトイレ使用で大変苦勞をなさったと聞き、一般質問したところ、文化会館の関係者の皆様が、話し合い「多目的トイレ」を本館へ新設されました。

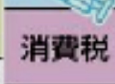
大変明るく清潔感のあるトイレになりました。また、ベビーベットでなく、大人も使用可能なものになっていて、高齢者にも優しい器具も備えられています。是非、使ってみてください。

【市長】 世界で唯一の被爆国の国民である私たちは、今日の繁栄が多くの尊い犠牲の上に築かれていることを改めて胸に刻み、二度と悲しみの歴史を繰り返さぬよう、次世代に語り継がなければなりません。

ロシアによるウクライナ侵攻は、国際社会の平和と秩序を脅かす断じて許されない行為であり、改めて抗議するとともに、「核兵器廃絶平和都市」を宣言し、日本非核宣言自治体協議会及び平和首長会議に加入している市長として、市民の命と財産が脅かされることなどないよう、市民の安全を守り抜く強い決意で、平和行政の推進に努めてまいります。

【市長】（ウクライナ問題を契機に）世界が、きな臭くなり、怖い感じがします。西欧を中心に防衛費の2％へと舵を大きく切った報道も耳にします。

今の財政状況の日本で、防衛費を倍増していくことには、いささか疑問が残ります。

| 防衛費倍増「5兆円」あったら何ができるか？（政府の資料などに基づく）                                                   |     |                              |          |                                                                                      |                       |
|--------------------------------------------------------------------------------------|-----|------------------------------|----------|--------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------|
|  | 年金  | 受給権者(4061万人)全員に1人年12万円を追加で支給 | 4兆8612億円 |  | 医療                    |
|                                                                                      |     |                              |          |                                                                                      | 公的保険医療の自己負担(1～3割)をゼロに |
|                                                                                      |     |                              |          |                                                                                      | 5兆1837億円              |
|                                                                                      |     |                              |          |                                                                                      |                       |
|  | 消費税 | 現在10%の税率から、2%を引き下げ           | 4兆3146億円 |                                                                                      |                       |
|                                                                                      |     |                              |          |                                                                                      |                       |



沼田市議会議員高柳かつみ

2022年 初夏 NO68号

と明日の沼田を前向きに考える情報誌

速報版

歩み合ニュース

立憲民主党

発行責任者 高柳勝巳 〒378-0055 沼田市柳町2583-8 ルピナス103号 ☎ 25-8062

ホームページ <http://www.ayumu-kai.jp/> Eメール [xx.takayanagi-po@au.wakwak.com](mailto:xx.takayanagi-po@au.wakwak.com)

高柳質問

「ノーサイド宣言」から始めましょう！

【高柳】 新市長が掲げた「公約」や目指すべき姿や方向性をいち早く確認しようと一般質問に立ちました。最初の質問は、市長就任に当たりその所信についてです。初登庁した市長は「溝を残し、報復合戦をしていては、地域の未来はない。」と語ったと報道されています。「沼田をひとつに」のスローガン通り、私も全く同感であります。

そこで、市長の現在の気持ちだが、この報道の通りであれば、ラグビーの試合同様、「ノーサイド宣言」をして欲しいと考えます。今後は、方法は異なっても同じゴールを目指す者同士、切磋琢磨していくスタートとして、本議会で市長の今後の基本的な想いを伺います。

【市長】 宣言になるかは分かりませんが、同じゴールに向けて努力する気持ちは同じです。高柳議員からの「ノーサイド宣言」質問通告はありがたく思いますし、同感であります。



市長答弁

そうした気持ちで目の前の課題から

ホテルルートインとは

高柳意見

「君子は豹変す」で対応すべきです

【高柳】 ホテルルートインへの対応について伺います。すでに着工となっている現在、慎重な姿勢のままでは行政もまちづくりも立ち行きません。ここは「君主は豹変す」のことわざ通り、市長の決断力、判断力が試されるわけですが、今後どのようなスタンスで臨まれるのかお聞かせください。

【市長】 沼田市は、令和2年3月に取り交わした「基本協定書」を締結しています。この趣旨に基づき今後、沼田市役所跡地活用事業が円滑に推進されるよう対応していきます。また、観光拠点が出来事による市内消費の増加や近隣飲食店の利用促進、地産地消、雇用の創出など様々な効果が期待されますので、宿泊施設を核とした地域経済の活性化にしっかりと対応していきます。

市長答弁

まさしく、その考え方で今後は対応



# さらに新市長の「公約」の真意を聞きました 学校給食の無料化は？ 市長 慎重に検討します

【高柳】この公約は今回立候補の3人が全員公約に掲げたものですので、先般、議会においても市民要望を受け、全会一致で採択された内容です。具体化へ向けた考え方と実施スケジュールについてお聞かせください。

また、この3月議会で私は無料化に加え、オーガニック化を推進しながら、世界の潮流も取り入れ、本市の地域特性を活かした農業の活性化、地域経済へも大きく貢献する「食の循環」を形成していくことを提案しましたが、市長の基本的な考えをお聞かせください。

## 無料化は単なる教育事業のひとつなどではなく 少子化対策のまさに「戦略の核」と考えるのです 高柳意見

### 出産を制限してしまう理由は、教育にお金がかかり過ぎる事に尽きる

【高柳】正直、答弁には少々がっかりです。議会でも学校給食の無料化請願には全会一致で可決した経緯も含めれば、「公約遂行」の阻害要因は何一つないと考えます。同じ公約の3候補で『この人が一番実行力がありそう』として期待を込めた1票の積上げで市長に当選された責任は重いと考えます。千以上の事務事業の精査を云々と延べられましたが、この問題は市の一事業などではなく沼田市にとっては、基本政策の一目1番地に据えるべき「戦略」と考えます。

えっ！

【市長】給食費の無料化は財源確保に総合的な調整が必要ですので、実施スケジュールも含め、今後検討を進めていきます。

有機農業は、環境保全に資するものであり、食の安全の他、オーガニック市場などの新たなマーケットの可能性もあります。給食への導入は、通年的な供給体制の安定性が求められることから、生産量の確保なども含めて生産者の声を聞きながら、関係団体等の連携しながら研究していく考えです。

【市長】私も教育長も『不退転の決意』は基本スタンスとして、しっかり持っている事だけは申し上げたい。

今すぐにスケジュールまで出すことは困難ですが、（沼田市の）方針として教育長や庁内へ伝えてあります。高柳議員がご指摘の「単なる子育て支援事業」の一つではないという意味に受け止めていただきたい。

| 第1-2-24表 理想の子ども数を持たない理由 |                    |        |               |                      |                   |              |                            |          |              |                     |          |                          |     |
|-------------------------|--------------------|--------|---------------|----------------------|-------------------|--------------|----------------------------|----------|--------------|---------------------|----------|--------------------------|-----|
|                         | 子育てや教育にお金がかかりすぎるから | 家が狭いから | 自分の仕事に差し支えるから | 子どもがのびのび育つ社会環境ではないから | 自分や夫婦の生活を大切にしたいから | 高齢で生むのはいやだから | これ以上、育児の心理的・肉体的負担に耐えられないから | 健康上の理由から | 欲しいけれどできないから | 夫の家事・育児への協力が得られないから | 夫が望まないから | 一番末の子が夫の定年退職までに成人してほしいから | その他 |
| 総数                      | 62.9               | 14.6   | 17.1          | 20.4                 | 11.5              | 33.2         | 21.8                       | 19.7     | 15.7         | 12.1                | 7.2      | 9.6                      | 5.6 |

## 沼田市「まち・ひと・しごと総合戦略」にも記載

基本目標

3

「結婚・出産・子育ての希望をかなえる」

<数値目標>  
合計特殊出生率 1.5人

1 結婚

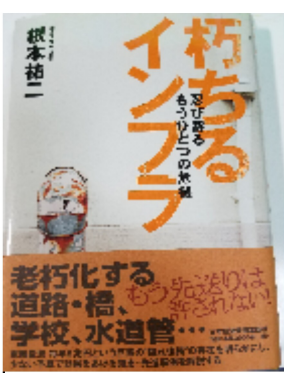
2 妊娠・出産

3 子育て

4 子育て支援

5 子育て支援

- ### 施策3-1 妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援
- ①結婚支援
  - ②小児科医や産婦人科医の確保と安定した周産期医療・小児医療の提供
  - ③妊娠・出産・子育て情報交換の場・仕組みづくり
  - ④不妊治療、不育症治療の助成
  - ⑤子どもの遊び場の充実
  - ⑥子育て世代包括支援センターの充実
  - ⑦子ども・子育て支援の充実
  - ⑧出産・子育て時の経済的負担の軽減と多子世帯の支援



【高柳】前市長は、公共施設等総合管理計画をファシリティマネジメントに基づき、合併特例債も活用しながら急速にこれを進めてきましたが、今後はこの方針を引き継ぐと共に、ステージは「公共施設」から社会的インフラ、つまり、道路や橋、上下水道などの老朽化対策へ移行していくと考えられます。

大きな政策変更は無くても、大きな財政負担を要する大型事業となることは必至です。現在の沼田市の社会インフラの状況をどのように把握し、どう対応していく考えなのかお聞かせください。

特に私は以前から複数回に渡り、老朽化が著しい水道設備について指摘をしてきましたので、ここを中心に沼田市のいわゆる「ハコモノ」以外の整備の進め方についてお聞かせください。

## 築後90年を経過している施設も存在 社会的インフラ（水道）整備の進め方は

【市長】築造から既に40年以上が経過した施設も多数存在しており、これまでも継続的な維持管理を通じ、優先度、重要度の観点から適宜修繕を行っています。

このため、緊急度の高い浄水場の電気設備の更新を5か年計画で進めるとともに、昨年度は、浄水場の改築・更新・長寿命化についての検討するための上水道基本計画の策定をしました。

今後は、本基本計画を基に、浄水場施設の改築・更新等の内容を更に精査していくとともに、水道事業の経営的視座に立った検討を深め、将来にわたる持続的な事業展開と安全・安心な水道インフラの提供に努めていく考えです。

整備をする際、費用便益比などの客観的評価指標を用いて事業評価を行い、事業を進めることは、事業の効率性や実施過程の透明性を図る上でも重要と考えています。

### 沼田市橋梁長寿命化修繕計画

沼田市は、令和3年4月現在で幅2m以上の橋を298橋管理しています。このうち「高齢橋梁」と呼ばれる橋齢50年以上の橋は現在63橋と20%程度ですが、20年後には52%に増加するなど、高齢化の割合は加速度的に増加していきます。そのため、平成24年度に橋長15m以上の橋梁71橋を対象に「橋梁長寿命化修繕計画」を策定しました。



利根町の千歳橋

### 沼田市トンネル長寿命化修繕計画

沼田市が管理する道路トンネルは、令和3年3月時点で計5本あります。建設後60年経過した古いトンネルが3本もあり、今後、更なる老朽化の進行により安全・安心な道路利用が困難となることが予想されます。

トンネルの機能を健全に維持していくためには「予防保全型」の管理に転換し、施設の延命化とLCの縮減を図ることが望まれます。

### 沼田市水道事業経営戦略

（平成30年度～平成39年度）

橋梁同士、トンネル同士の順位は比べられるが千歳橋と浄水場の優先度はどっち？

### 沼田市舗装長寿命化修繕計画

沼田市が市道として認定している道路は約1,413kmあり、令和2年度及び令和3年度に沼田市が管理する主要な道路、100路線（約177km）について舗装の劣化状況を調査しました。調査は「ひび割れ」、「わだち掘れ」、参考値として「平坦性」について行い、舗装の健全度を評価すると下記の結果となりました。



沼田市浄水場

【高柳】率直に伺います。市長は議員時代の一般質問で（利根町）千歳橋の建設について、こだわりのある言及をされました。私は本日含めて沼田市浄水場の建設を強く主張しています。

こうした課題への「客観性や妥当性」を市民にしっかり伝える「仕組み・制度」が今後はとても重要と考えて質問しました。

市長の千歳橋への想いも含め、高額負担となるインフラ整備への考え方・進め方を伺います

【市長】市議時代の質問で述べたとおり、千歳橋の建設問題以降、旧利根町は「あきらめムード」に傾斜したと認識しています。

高柳議員の質問通告を受け、庁内へ経過も含めて私の思いを伝えました。（大型事業なので）今すぐこれをどうするという事は出来ませんが、まさしく高柳議員の言う「総合的判断」が必要で、どこかのタイミングで、しっかりと議論していきたいと考えています。